

全国協議会 ニュース

2012年11月1日発行 第245号

発行所 特定非営利活動法人 全国骨髄バンク推進連絡協議会
〒101-0031 東京都千代田区東神田1-3-4 KTビル3F
TEL.(03)5823-6360 FAX.(03)5823-6365
発行責任者:中野勝博
http://www.marrow.or.jp/ E-mail:office@marrow.or.jp

郵便振替口座 00150-4-15754
銀行口座 三井住友銀行 新宿通支店 普通 5666655

全国協議会第7回役員選挙告示

全国協議会の第7回役員選挙に関して、中野勝博理事長より5名の選挙管理委員が委嘱され、10月7日に第1回の選挙管理委員会が開催されました。互選により梅田正造氏を委員長に選出したのち、役員数の確認、選挙日程の検討が行われ、10月10日に第1回選挙告示が行われました。

第7回役員選挙のための第1回選挙告示

2013年度および2014年度役員選挙を行います。「役員選挙規程」並びに「選挙細則」に基づき下記の通り告示します。

2012年10月10日
選挙管理委員長 梅田正造

1. 選挙管理委員会
委員長:梅田正造
副委員長:中谷光子
委員:泉水陽一、高野由美子、黒川紀子 以上5名
2. 役員の任期
2013年7月1日～2015年6月30日
3. 役員の数
会長1名、副会長5名、理事15名(正会員の推薦を要する理事 全国区3名、各地区9名、推薦を要しない公募による理事3名)、監事3名
推薦を要する理事の地区定数 北海道1名、東北1名、関東甲信越2名、東海北陸1名、近畿1名、中四国1名、九州2名、計9名
4. 選挙日程
第1回告示:2012年10月10日(水) ホームページおよび全国協議会ニュース 11月号
*立候補受付開始、届出書等配布
立候補届出締切:2013年1月10日(木)
第2回告示:2013年1月21日(月) ホームページおよび全国協議会ニュース 2月号
*立候補者最終発表、投票用紙配布
投票期間:2013年3月4日(月)～3月18日(月)
開票日:2013年3月20日(水・祝)
開票結果発表:2013年3月21日(木) ホームページおよび全国協議会ニュース 4月号
5. 立候補者への注意事項
(1)必ず所定の届出書に記入して提出して下さい。届出書は下記の選挙管理委員会事務局に請求するか、ホームページからダウンロードして下さい。
(2)届出書に自署押印の上、推薦書、立候補者の顔写真を同封の上、必ず簡易書留で郵送して下さい。
(3)立候補者に必要な推薦者(団体)の数は、会長7団体以上、副会長5団体以上、監事3団体以上、全国区推薦理事3団体以上、地区推薦理事 地区内2団体以上です。但し、公募理事に推薦者は不要です。
(4)推薦書は、所定の用紙に推薦団体に記入してもらって下さい。用紙は選挙管理委員会事務局に請求するか、ホームページからダウンロードして下さい。
(5)立候補者は、選挙に関する内容の掲示で全国協議会のメーリングリストを利用しないで下さい。

<選挙管理委員会事務局 連絡先>
〒101-0031 千代田区東神田1-3-4 KTビル3F 全国骨髄バンク推進連絡協議会内

25年度移植対策関連概算要求32億円 将来像提言の「センター化」に前進か?

厚労省の来年度予算概算要求の概要が判明しました。移植対策予算32億円のうち、新法制定後初の造血幹細胞移植対策費として、23億9千万円を計上しています。特筆すべきは、特別重点要望項目として「造血幹細胞移植拠点病

院整備事業」に2億2千万円を計上し、全国9か所の中核施設を拠点病院に指定することで治療成績の向上等を図るとしていることです。本紙前号の新法制定の記事にも紹介した当協議会将来像検討会議の提言には、骨髄バ

ンク・さい帯血バンクの統合による「造血細胞バンク」の設立とともに、「採取・移植病院のセンター化」も明記されてきました。これには多様な目的がありますが、その一つに、コーディネーター期間のうちドナー決定から採取までの日数短縮があげられます。ここ数年のドナー決定から骨髄液採取までの中央値は75日となっています(財団ドナー

ンク・さい帯血バンクの統合による「造血細胞バンク」の設立とともに、「採取・移植病院のセンター化」も明記されてきました。これには多様な目的がありますが、その一つに、コーディネーター期間のうちドナー決定から採取までの日数短縮があげられます。ここ数年のドナー決定から骨髄液採取までの中央値は75日となっています(財団ドナー

ンク・さい帯血バンクの統合による「造血細胞バンク」の設立とともに、「採取・移植病院のセンター化」も明記されてきました。これには多様な目的がありますが、その一つに、コーディネーター期間のうちドナー決定から採取までの日数短縮があげられます。ここ数年のドナー決定から骨髄液採取までの中央値は75日となっています(財団ドナー

ンク・さい帯血バンクの統合による「造血細胞バンク」の設立とともに、「採取・移植病院のセンター化」も明記されてきました。これには多様な目的がありますが、その一つに、コーディネーター期間のうちドナー決定から採取までの日数短縮があげられます。ここ数年のドナー決定から骨髄液採取までの中央値は75日となっています(財団ドナー

ンク・さい帯血バンクの統合による「造血細胞バンク」の設立とともに、「採取・移植病院のセンター化」も明記されてきました。これには多様な目的がありますが、その一つに、コーディネーター期間のうちドナー決定から採取までの日数短縮があげられます。ここ数年のドナー決定から骨髄液採取までの中央値は75日となっています(財団ドナー

ンク・さい帯血バンクの統合による「造血細胞バンク」の設立とともに、「採取・移植病院のセンター化」も明記されてきました。これには多様な目的がありますが、その一つに、コーディネーター期間のうちドナー決定から採取までの日数短縮があげられます。ここ数年のドナー決定から骨髄液採取までの中央値は75日となっています(財団ドナー

ンク・さい帯血バンクの統合による「造血細胞バンク」の設立とともに、「採取・移植病院のセンター化」も明記されてきました。これには多様な目的がありますが、その一つに、コーディネーター期間のうちドナー決定から採取までの日数短縮があげられます。ここ数年のドナー決定から骨髄液採取までの中央値は75日となっています(財団ドナー

日赤バンク事業 関係者と今後の 方向性を意見交換

財団・ネットワーク合同全国大会が仙台で開催された翌週の9月24日、日本赤十字社(東京都港区)にて当協議会と日赤血液事業本部幹部との意見交換の場をもつことができました。

これは、9月に造血細胞移植の根拠法とも言うべき「移植に用いる造血幹細胞の適切な提供の推進に関する法律」が制定されたことを受けて、今後の方向性を話し合うために開かれたものです。当日は、西本血液事業本部長を始めとしたバンク事業に関わる関係者との懇談というところで、全国協議会からは、野村副会長、中野理事長、菅事務局長ら総勢7名で訪問してきました。

会談では、さまざまなトピックスが話し合われましたが、日赤としても非常に前向きに今後も造血細胞移植に関わる事業に取り組むことをアピールされ、全国協議会からも全国の草の根で活動するボ

ランティアの声を吸い上げたうえでフィードバックを要望されたり、積極的なアイデアも提案して欲しいといったコメントもありました。全国協議会からは、今まで以上に移植医療に主体的に取り組んでいただきたいことや、

医師(特に麻酔医)不足問題が直ちに解消されることにはなりません。システム全体の効率化が図られ、コーディネーター期間短縮に資することを期待します。将来像検討会議の提言が、厚労省に受け入れられ、一歩前進したものと評価したいと思います。(加藤)



現場レベルでの改善要望などを説明させていただき、終始和やかなムードでの面談を終えました。今後もこうした情報交換、共有の機会を定期的に行うように関係を構築できればと思いました。(三田村)

共催イベント
北から南から

10月6日、福岡市内の浜の町病院で医療講演会(リボンの会主催)を開催し、百名を超える参加がありました。第一部は2演目で、最初に「化学療法、造血細胞移植療法のトピックス」として、河野先生に、成人T細胞白血病とリンパ腫に対して4月に承認された新薬のお話を伺いました。次に「血液疾患と退院後の生活について」と題し、吉田先生に血液疾患全般の話をしてもらいました。

第二部は患者と家族の体験発表に続いて、会場の質問を基に、臨床心理士を交えてディスカッションを行いました。患者の体験発表では、医師も知らない身体の話が紹介され、家族からは父親の発病の際の受け止め方や感じ方、病気の知識が家族でもそれぞれ

10月21日、「ちばアクアラインマラソン」の沿道や会場で、骨髄バンク啓発活動を行いました。

今年初めて開かれたフルマラソンの大会ですが、海ほたるを折り返し地点として東京湾アクアラインを走れることもあり、1万4千人が参加されました。

箱根駅伝に続く啓発活動になればと、千葉の会メンバーも奮起、県や袖ヶ浦市に掛け

一人じゃないよ
孤独じゃないよ
体験と思いを共有

ちばの風につて声援
骨髄バンクもPR

骨髄バンクの最新情報をお知らせする

骨髄バンクNOW

現場レベルでの改善要望などを説明させていただき、終始和やかなムードでの面談を終えました。今後もこうした情報交換、共有の機会を定期的に行うように関係を構築できればと思いました。(三田村)

共催イベント
北から南から

骨髄バンクの最新情報をお知らせする

骨髄バンクNOW

現場レベルでの改善要望などを説明させていただき、終始和やかなムードでの面談を終えました。今後もこうした情報交換、共有の機会を定期的に行うように関係を構築できればと思いました。(三田村)

共催イベント
北から南から

骨髄バンクの最新情報をお知らせする

骨髄バンクNOW

現場レベルでの改善要望などを説明させていただき、終始和やかなムードでの面談を終えました。今後もこうした情報交換、共有の機会を定期的に行うように関係を構築できればと思いました。(三田村)

共催イベント
北から南から

骨髄バンクの最新情報をお知らせする

骨髄バンクNOW

日比谷のサンマは女川にかぎる！ がんばっぺ女川

10月20日、東京・日比谷公園において「おながわ秋刀魚収穫祭in日比谷」(女川魚市場買受人協同組合主催)が開催され、全国協議会は啓発活動と、財団の協力を得てドナー登録会を行いました。



全長30Mの焼き台に並ぶサンマをキティウちわで扇ぐ

東日本大震災で甚大な被害を受けた宮城県・女川町の女川のサンマ6万匹が持ち込まれ、塩焼きや女川汁として都民に無料でふるまわれる企画で、多くの来場者が見込まれることから、運営に協力するライオンズクラブ国際協会330-A地区から全国協議会も声をかけていただき、会場での活動が実現しました。



* * *

頂けるよう、ひとりひとりに声かけと啓発用リーフレットをお配りしました。結果的には、現地で多くの方がご登録され、参加させて頂いて良かったと実感できるイベント

臓器移植者との交流を深め 晴天の国立競技場を快走！

国立競技場で行われる「2012グリーンリボンランニングフェスティバル」(主催・NPO法人日本移植者協議会他)。今年も骨髄バンクのタスキをつけて走ってくれたランナーを募集、3kmの部に3名、10kmの部に4名、駅伝1チームが参加しました。



1995年から続く企業文化のひとつです。活動内容については、各グループが自由に取組んでおり、私どもでは、箱根駅伝等でご縁のあった骨髄バンクさんのPR活動に、一昨年から協力させて頂いております。今年是被災地・女川町の復興イベントの一環で、来場者に現地で水揚げされた新鮮な秋刀魚が無料で振舞われるとあって、朝早くから長蛇の列ができる盛況ぶりでした。そこで、我々ボランティアスタッフがドナー登録

となりまして。今後とも微力ながら、協力させて頂きたいと思っております。(ブルデンシャル生命保険(株) 東京第二支社 松嶋)



東日本大震災 被災者支援基金

9月21日～10月20日

株式会社 洋伸	現金	12,037円
10/21 国立競技場 募金箱	現金	38,014円
越田 光重	現金	3,000円
匿名	現金	5,000円

(敬称略)

寄付受入 合計8,547,881円
給付実績 44件 合計7,863,163円

基金積み増しにご協力ください

●郵便振替 (通信欄に震災支援と記載)
特定非営利活動法人 全国骨髄バンク推進連絡協議会
00150-4-15754

●銀行の場合
特定非営利活動法人 全国骨髄バンク推進連絡協議会
ゆうちょ銀行 008店 普通 4799951

心からのご寄付に 感謝申し上げます

9月21日～10月20日

菊水酒造株式会社	現金	500,000円
飯島 孝枝	現金	2,340円
沢崎 俊明	現金	20,000円
塩谷 圭	現金	1,000円
中島 久子	現金	5,000円
高橋 計凱	現金	30,000円
飛田 行康	現金	5,000円
中西 光太郎	現金	5,000円
榎尾 元春	現金	10,000円
関 朝之	現金	3,000円
鈴木 純子	現金	1,340円
匿名	現金	30,000円
●白血病患者支援基金		
磯屋食堂	現金	5,761円
嶋津 桂子	現金	3,000円
●佐藤さち子患者支援基金		
MRIインターナショナル,INC.	現金	36,000円
亜沙美の日	現金	50,000円
福岡 勝利	現金	20,000円

(敬称略)

活動資金の援助をお願いします

銀行口座 三井住友銀行 新宿通支店
普通 5666655
郵便振替口座 00150-4-15754
特定非営利活動法人
全国骨髄バンク推進連絡協議会

※国税庁より「認定NPO法人」として認可されていますので、寄付控除の対象となります。

◇初めての参加でしたが、全国のランナー&ボランティアとの交流が楽しかったです。快晴で気温27℃でしたが、申告タイムより良い結果で満足です。(申告60分/記録55分55秒) 来年も参加します。(豊田)

◇自分の頑張り誰かの頑張りにつながると思えて走り抜けてきました。(尾木)

◇今回は60分を切ることを目標にスノーボードのイベントの仲間と走りました。目標の60分を切ることもでき、この走りを通じてこれから移植を受ける患者さんに「元気になれる」と自信を持つてもらえたらと思います。そして何よりこの場を走れているのはドナーさんが居てくれたお蔭です。ありがとうございました。(荒井)

◇今後は、志を同じくする熱心な仲間たちと活動できる喜びがあるからでしょう。(長崎の会北田)

方々にご覧いただきました。また、10月15日から21日まで、「あやちゃんの贈り物展」を「いのちのかけはし」移植医療普及キャンペーンの一環として、イオン山形南店で展示いたしました。ご協力くださいました皆様、心より感謝申し上げます。

各地の あなたより

各地のたよりを
写真を添えて
お寄せください。

長崎 県境越える団結



九州各県のボランティアが毎月2〜3回熊本へ献血併行登録会の応援に行っています。写真は10月12日(金)に熊本県八代市のショピングモール「ゆめタウン八代」であった時の様子です。

この活動ができるのは、理解がある主人とランニング仲間のおかげです。

山形 「いのちの輝き展」

「いのちの輝き展」を7月8日〜10月5日まで、青年会議所山形ブロック会員大会会場(県北/新庄市)を皮切りに、山形県庁、荘内銀行様のご協力で本店(日本海側/鶴岡市)・山形営業部(内陸/山形市)・米沢中央店(県南/米沢市)で開催し、多くの

ボランティアの仲間たち

この活動ができるのは、理解がある主人とランニング仲間のおかげです。